

報道関係者各位(企業情報)

2013年(平成25年)12月6日

会社と家庭が一体となった環境活動が評価 「平成 25 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」 対策活動実践・普及部門にて受賞

株式会社ファンケル(本社・横浜市中区、代表取締役社長執行役員・宮島和美)は、環境省が実施する「平成 25 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰(対策活動実践・普及部門)」を受賞し、12月4日に都内にて授賞式が催されました。



平成 25 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰授賞式にて
 (左)石原伸晃環境大臣
 (右)(株)ファンケル代表取締役社長 宮島 和美

「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」とは、環境省が平成 10 年度から地球温暖化対策推進の一環として、毎年、地球温暖化防止月間である 12 月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対しその功績をたたえるために 5 つの部門で表彰を行うものです。

当社は、2008 年より CO2 削減への意識改革に向け、役員と従業員、そして家庭までもが一丸となり『「家庭」と「会社」でエコプログラム ～家族で三文の徳 大作戦～』に取り組んでおります。この「家庭」までが一体となった環境活動は、日本初の取り組みであり、横浜市からもご評価と本表彰へのご推薦をいただき、「対策活動実践・普及部門」にて受賞するにいたりました。

当社では、このほかにも環境教育や行政とも連動した森林保護などさまざまな環境活動に積極的に取り組み、活動の幅を拡大させております。今回の名誉ある表彰を励みとして、今後もより一層環境活動に力を入れてまいります。

取り組み概要

「家庭」での CO2 削減に“褒賞金”、そして「会社」の役員報酬・固定部分に“環境報酬”を導入。 役員は、CO2 削減計画未達で「報酬の固定給=生活給をカット」！	
目的	・CO2 排出量削減のために、ハード面だけではなく、「役員」と「従業員」と「その家族」の意思改革をはかり、「会社」と「家庭」の両面から CO2 削減を推進する ・「家庭」で活動することで、家庭内の「コミュニケーション強化」「生活習慣の見直し」「子供のしつけ」につなげる
内容	・毎月総務省から発表される「世帯別・家計調査」の公共料金と、家庭での使用料金を比べ、世帯平均より削減ができた場合 4,000 円+同居の家族ひとりに対し、2,000 円の「ギフト券」をそれぞれ贈呈。また、素晴らしいアイデアで CO2 削減に成功した従業員に追加で 10,000 円の「ギフト券」を贈呈 ・企業活動における CO2 削減目標値を達成できなかった場合、翌年の役員報酬を役位に応じてカット
成果	・『「家庭」と「会社」でエコプログラム』は、2008 年以降、延べで 1,164 名の従業員とその家族 3,068 名が達成 ・累計で「会社」では 5,370t、「家庭」では 279.1t の CO2 をそれぞれ削減* ※東京ドーム 177 個分の広さの森が吸収する CO2 量に相当

受賞にあたり

(株)ファンケル代表取締役社長 宮島 和美



この度は、名誉ある賞をいただき、まことにありがとうございます。

当社は、創業当初より積極的に環境活動に取り組んでおりますが、「環境」の重要性がさげばはじめた2008年頃より専門組織をつくり、「CO2削減」をキーワードに、さまざまな環境活動に取り組んでおります。

今回、賞をいただいた『「家庭」と「会社」でエコプログラム～家族で三文の徳大作戦～』は、家庭でのCO2排出量が増加しているという地元横浜での現状に貢献したいという思いで、家族も楽しみながら協力して取り組める仕組みといたしました。

継続して削減に取り組めるよう仕組みを改善しながら実施しておりますが、結果、従業員とその家族が累計で10,000人参加し、279.1tものCO2削減を達成しております。そして、従業員からは、この活動を通して親子で会話をする機会が増えた

という声もあがっており、家族のコミュニケーションツールとして活用されるといった思わぬ副次的な効果も生まれております。

企業活動においては、環境目標を役員報酬と連動させることで、役員が自ら率先して活動しており、毎年目標値をクリアすることができております。これからもCO2削減にとどまらず、環境保全に向けてさまざまな活動に積極的に取り組んでまいります。

環境活動担当者より

当社では、「もっと何かできるはず」という企業理念のもと、環境に配慮した企業活動を推進しております。その中でも『「家庭」と「会社」でエコプログラム』は、実施するごとに達成する従業員が増えるとともに、たくさんのオリジナリティあふれるアイデアで削減にチャレンジしているという報告を受けており、従業員の環境活動に対する意識の高まりを強く実感しております。

この取り組みの一番の特徴は、従業員一人ひとりが楽しみながら家族と協力しあって環境にやさしい生活を目指し、削減を達成した成果に対して会社から褒賞を受けることで、その喜びが家族をさらに結束させ、次の環境活動につながっていくという好循環が生まれる仕組みであるということです。社内には「エコパパ・エコママ」が増加しており、さらにCO2の削減が進むことが期待されます。この受賞をうけ、これからも楽しみながら取り組める仕組みを生み出し、積極的な環境活動に努めてまいります。



CSR推進事務局
小倉悦子(左) 鹿山憲一(右)

【当社の環境活動について】 <http://www.fancl.jp/company/csr/env/>

【家庭でエコプログラム】 <http://www.fancl.jp/company/csr/env/home.html>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ファンケル 社長室 IR・広報グループ 三澤敬之・油井紀理子

TEL:045-2260-1230 FAX:045-226-1202

【参考資料】

『「家庭」と「会社」でエコプログラム ～家族で三文の徳 大作戦～』 概要

「家庭」での活動

- 【ルール】
- ・家族の人数を確認
 - ・家庭で使う「電気」「ガス」「水道」の半年間の「検針票」を保管 *半年間⇒①4月～9月②10月～3月(現在、11回目を実施中)
 - ・総務省が発表する全国の「世帯別平均使用金額」と自宅での使用金額を比較



→使用料金が、全国平均より下回っていたら、会社より従業員は¥4,000分、家族は1人あたり¥2,000分の「ギフト券」を贈呈。さらに、優秀な活動には「アイデア賞」として¥10,000分の「ギフト券」を贈呈

「会社」での活動

- 【ルール】 毎年設定するCO2削減目標値を達成できなかった場合、翌年の役員報酬の固定部分を役員の役位に応じてカット

取り組み事例

家庭での取り組み

【水道】



お風呂の残り湯をポンプで「洗濯機」に給水



冷房の室外機から出る水を貯めて、植木にまく

【電気】



使わない部屋やエアコン等の配電盤は、常にオフ



「ホース」でストーブの温風を電源オフのこたつの中に

【ガス】



窓からの寒気をさえぎるため、段ボール等を窓に置く

会社での取り組み

太陽光パネル
(ファンケル美健滋賀工場)



最大発電量: 37kw
モジュール枚数: 1,560枚
累計発電量: 1,126kwh
累計CO2削減量: 507トン

液化天然ガス
(ファンケル発芽玄米)



重油から液化天然ガスに転換
累計CO2削減量: 883トン

ハマウイング



グリーン電力
累計発電量: 1,443kwh
累計CO2削減量: 576トン

その他:「家庭」でのCO2削減に対する「会社」からの支援活動

① うちエコ診断



「神奈川県温暖化防止活動センター」の省エネ専門家によるエコ診断を、2011年、2012年の2年連続実施。県の相談枠100名の内、50名がファンケル従業員でしめる

② イン트라ネット「もっとECO」



イントラネット「もっとECO」を立ち上げ、家庭でのエコ活動を紹介

③ エコ商品を安く共同購入

会社の購買機能を活用し、どこよりも安く、エコ商品を共同購入。2009年から5回実施。延べ415名の従業員がエコ商品を購入

④ 環境教育(植樹と自然循環のしくみ)



2012年より毎年、従業員に、横浜市の水源「道志の森」で、生物多様性と美味しい水のしくみや植樹を実施。環境省「グリーンウェイブ」に参加